

就労支援と作業療法

普及資料

作業療法士向け

# 「働きたい」を支える作業療法

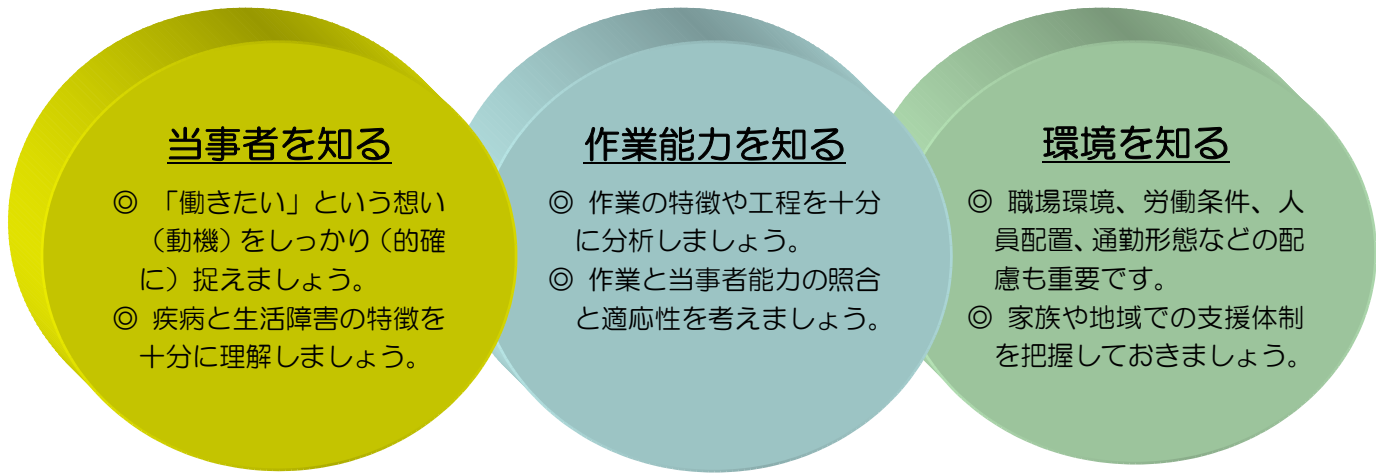


## 就労支援における作業療法・・・

まずご本人のニーズや、ご家族を含むその生活環境を理解することから始めましょう。そして作業環境の調整や適応能力向上を目指し、その過程から、ご本人が関わる多くの方々や社会環境と適応できるような準備と支援につとめ、その人らしい生活再建のお手伝いをしましょう。



## 2. 評価と支援のポイント



○ 就労支援は、より高い人生の質(QOL)を目指すことが目的です。

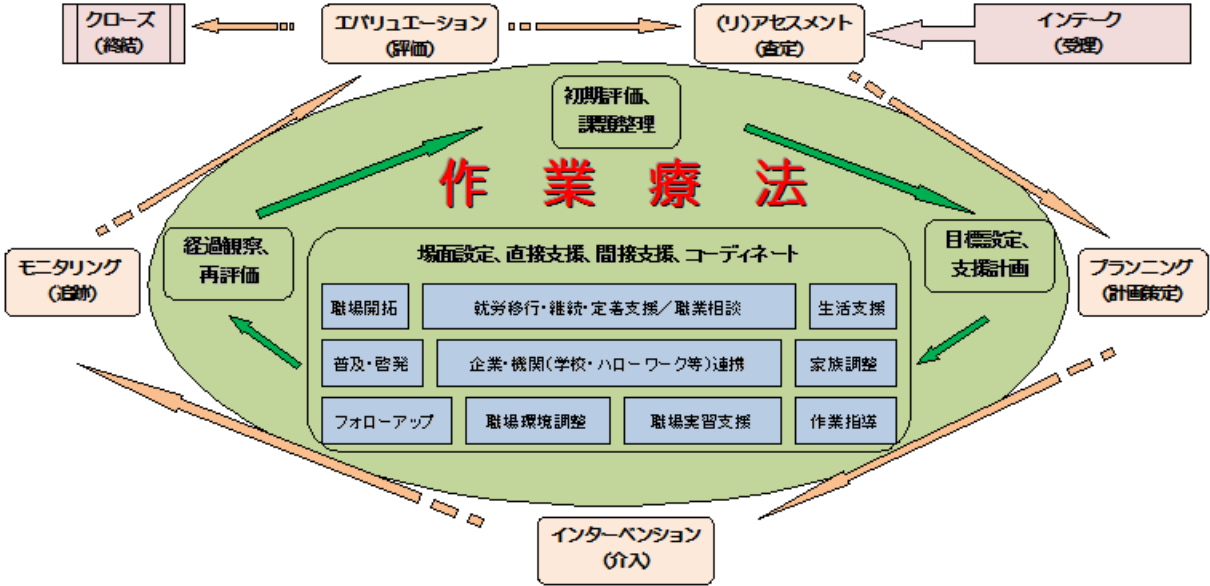
○ 当事者、作業、環境を適切に評価することで、仕事を含む社会生活を送るための準備性を的確にとらえましょう。

○ これらの評価は、新たな職場開拓にもつながります。

○ その人らしい生活の実現のために、生活の安定、仕事の定着、継続できるための就労支援を実践しましょう。

## 3. 就労支援に活かせる作業療法

～障害者ケアマネジメントの過程（外）と作業療法（内）～



○ 作業療法も障害者ケアマネジメント同様の流れで組み立てられています。つまり作業療法は障害者支援の有効な方法といえます。

○ 就労も含めたその人らしい生活の実現のために、作業療法を有効活用しましょう。

※ 障害者ケアマネジメント：出会い（インテーク）、本人と環境の見立て（アセスメント）、チームによる支援計画（プランニング）、実際の働きかけ（インターベンション）、変化に応じた計画の見直し（モニタリング）、支援終了時評価（エバリュエーション）

※ 参考資料：「知的障害者の就業と生活を支える地域支援ネットワークの構築に向けて」独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構、2002

# ★就労支援チェックシート利用にあたって

Q1 このシートはどのような方に使えるの？

A1

医療機関・施設及び在宅福祉サービス事業所・教育機関・一般企業等、すべての障害者の就労支援場面でご使用いただけます。これから働きたいと思っている方、就労に向けた訓練をしている方、一般企業等で仕事の定着や継続を目指している方などにご利用ください。

Q2 このシートの特徴は？

A2

障害者の生活全般の能力と予備力（潜在能力）を評価すること、さらに就労環境や家族、地域への働きかけ等、作業療法士として見逃してはならないポイントを掲載いたしました。

Q3 もっと詳しい資料はあるの？

A3

ご参考までに、就労支援に関する作業療法士の役割について、具体的な評価、目標設定、マネジメントの方法等が「作業療法ジャーナル 6月増刊号 Vol.43/ No.7/2009」に掲載されています。また関連資料として「作業療法マニュアル 22 障害者の働く権利・働く楽しみ 2003年」が発行されています。



## 生活を支え、仕事を支え、人生を支える作業療法

それは、対象者を理解するということ、作業を分析するということ、社会を巻き込むということ。

そして、各要素をマッチングさせ対象者の人生を支えるということ、より高い人生の質を目指していくということ。



《事業担当》

(社) 日本作業療法士協会 保健福祉部 保健福祉作業療法普及委員会

〒111-0042 東京都台東区寿 1-5-9 盛光伸光ビル7階

TEL : 03-5826-7871 FAX : 03-5826-7872 URL <http://www.jaot.or.jp/>

平成22年10月